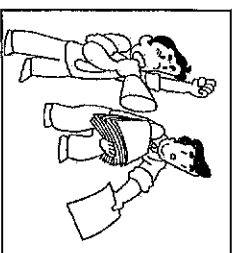


全国 検数労連

697号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
福会館 5階
TEL 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
e-mail xoren@kensu.jp
http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



全日検 平均4,177円 日検 平均4,472円

検数経営は物価上昇で膨らむ家計の負担増を直視せよ！

【日検協会22春闘有額回答】

賃金引上げについて
2022年3月31日以前に採用した職員は賃金引き上げに関し、次のとおり回答する。

1. 本給 (平均 2,490円)
 - ① 19才から55才まで 2,500円とする。
 - ② 56才から59才まで 2,000円とする。
 2. 定率昇給 (平均 1,982円)

19才から59才まで、2022年3月31日時点の本給に1.0%を乗じた額とし、10円未満が生じた場合はこれを切り上げる。

尚、年齢は2022年4月1日現在の満年齢とする。
 3. 2022年度初任給 153,000円とする。(高卒・18才)
 4. 実施期日
協定時に在籍している者を対象とし、2022年4月1日より実施する。
- 以上

【全日検22春闘有額回答】

1. 2022年3月31日在籍者の2022年4月1日以降の賃金を次により引き上げる。

職員(4月1日現在満年齢)	
(1) 定期昇給	1,400円
(2) 一律	
① 56才未満者	本給一律 1,300円
② 56才以上者	本給一律 900円
(3) 職務経歴加算	
① 5年未満500円、10年未満1,000円、15年未満1,500円、15年以上2,500円。但し、休務期間は、勤続年数(1ヶ月未満は切捨)から控除とする。	
(4) その他身分については、支部で決定する。	(全国平均：職員4,177円) 尚、年齢は2022年4月1日現在の満年齢とする。
(5) 『定期昇給の減額または停止』及び『休職・復職等の取扱』は従来どおりのとする。	
 2. 2022年度時間外計算基礎分母153時間を152時間とする。
 3. 2022年4月1日以降の徹夜休日及び休息日の保障手当を月額賃金の153分の5、5時間から152分の6、0時間とする。
 4. 実施日：2022年4月1日より実施する。
- 以上

有額回答提示されるも要求額には程遠い

日検説明

4月26日(火)第9回顧問交渉を開催し、冒頭、経歴差別が4月24日(日)に定していた24時間入上を5月22日(日)に延期し、各差別加盟組織の書簡回答の検証競争に入らざることを報告した。同時に検数労連が予定していた行動について改めて解除したことを表明した。交渉では、約1ヶ月経たずして顧問からの有額回答が示された。組合は「般社は高収益を上げる中で而協会においても21年度状況になることは間違いない部分だけならば収益関係は厳しい状態である。このような経営環境の中で高騰などにより組合員の生活の収益は黒字を計上。一方物は高騰などにより組合員の生活の不満を表明した。同時に次回交渉で大幅修正回答を求めた。

全日検説明

最終について、コロナ禍や原油・円高のウラが響き、定率昇給に懸念が示された事について、定率昇給に回答が示された事について、受け止めることができなかつた。これまで交渉の中で説明している組合を困っている最中でもあり、現状厳しい状況には変わりはない。差別賃金を無視せず、いかにして組合員に有利な状況にしたい。また、費用支出では、特定の手当などが増えていることを見逃さず、損益を確保して各支部の状況を確認しながら、賃金引上げ交渉運動条件の改善に向けていく。様々な角度から検討をしながら、労組要求に即して対応すべき点がある。全日検とすることで鋭意検討してきた労組の要求を押し止めた上で回答構築してきて労組の要求を断念する。

また、修正回答を求める。本日は提示された有額回答については、総体的に低額回答であり、人員不足の中で奮闘している職場の必要な改善を求めたい。また、賃金引上げは絶対条件である。22春闘は「一律で回答するよう強く求める。」全日検については、定率・一律回答がされたが、一律回答での年齢格差が改善されず修正を求める。

本日は交渉で回線から有額回答の提示がされたが、要求との関係では低額であり、不適である。

組合主張点

次回交渉 5月11日(水) 15:30
第7回 検数労連22春闘交渉
組合要求に沿った大幅賃上げ・暮らし改善への修正回答を求めていきます！！